



羽村第二中学校区①

富士見小学校の取組

Community School

地域の核となる学校を目指して

富士見小学校では、「夢いっぱい 感動いっぱい 富士見小学校」を合言葉に、保護者や地域・関係機関の方が学校と一緒に子供たちを育てたいと思える学校づくりに取り組んでいます。PTAや「スマイリー・サポート」、むくの会（読み聞かせ）、おやじ会、羽村市青少年対策地区委員会など、日頃から学校に関わっていただいている活動を、保護者や地域の皆さんによる活動をコーディネートする地域学校協働本部として位置付け、誰もが気軽に教育活動に参画できる環境を整えています。

保護者や地域の皆さんによる学校ボランティア「スマイリー・サポート」では、子供たちの学習の支援を行う「児童支援部会」、学校行事や校外学習等を手伝う「イベント部会」、子供たちの登下校を見守る「見守り部会」の3つの部会が活動しています。保護者や地域の方に普段から学校や教室に入っていただくことで、子供たちとも良好な関係が築かれ、安心して学んだり生活したりすることができています。

活動に参加していただいている方からも、「自分たちの支援が子供たちの成長につながっていることを実感できてうれしい。」との声をいただいています。

学校と地域がつながり、地域全体で子供たちを見守り育てていく環境が整っていくことは、富士見小が目指す学校像の一つである「地域の核となる学校」の実現につながっています。



2年生の九九検定の様子

松林小学校の取組

Community School

みんなで松林っ子を育てるコミュニティ・スクール

松林小学校では、共生社会を生きる力を育むための特色ある学校教育活動として「わくわくプロジェクト」を行っています。“わくわくZOOプロジェクト”では、羽村市動物公園で実施される慰霊祭に参加し、「命の大切さ」について学びます。“わくわくスタディ”では、放課後や夏季休業中に保護者や地域の方、都立羽村高等学校の生徒などを招き、多様な「先生」とコミュニケーションしながら学習に取り組めます。“わくわくフレンド”では、都立羽村特別支援学校の生徒と年間を通して交流を深めています。

コミュニティ・スクール委員会で熟議しながら、地域と学校とが一体となって、子供たちが生き生きと活動できる環境づくりに取り組んでいます。

「わくわくプロジェクト」を通して、松林小学校の子供たちは様々な人と関わり合いながら、“わくわく”を育てています。

自分たちの住む「はむら」を好きになり、ゆくゆくは「はむら」を支える力につながることを願って、地域の皆さんと協力しながら、引き続き、教育活動を充実させていきます。



わくわくスタディの様子

コミュニティ・スクールは、授業や学校行事、放課後の活動など、様々な場面で保護者や地域の方々に積極的に関わっていただき、大人と子供が共に学び、成長していく「地域と共にある学校」です。

御協力いただける方は、お近くの学校までお声掛けください、お待ちしております!!

